

### 第3期伊那市地方創生総合戦略（案）等に対する意見と市の考え方

○意見募集期間 令和7年2月21日（金）～令和7年3月10日（月）

○意見の総数 8件

項目	資料	該当頁	大項目	中項目	小項目	意見の概要	市の考え方	意見の属性	
								地区	年代
1	地方創生 総合戦略	7	人口の将来展望	自然動態	表中	数値は正しいと思うが、分かりづらい。	基本的視点、基本目標、リーディング・プロジェクトで掲げている取組等により、若い世代が働きやすく、子どもを産み、育てやすい環境づくりを推進し、出産が可能とされる年齢層（分母）と、出生数（分子）の増加を目指していくことから、自然動態の目標数値は「合計特殊出生率」による設定が最適と考える。 なお、合計特殊出生率による目標数値は、第1期から継続して設定している。	高遠地域	70代
2		16	リーディング・プロジェクト2	②女性や子育て世代が活躍できる地域づくりの推進	事業の内容	現役引退後の人材バンクの創設、マッチングの仕組みを検討いただきたい。 経験や意欲があっても活躍の場がない等、スキルのある人材が埋もれている。 育児休暇取得には代替人員の確保が必要であり、人員に余裕のない職場においては、育児休暇を取得しづらい現状があるため、即戦力となる人材の短期雇用が可能なマッチングの仕組みが必要だと感じる。	事業の内容の「女性・子育て世代が仕事と家庭生活を両立できる多様な働き方が可能な職場環境づくりの推進」に向けて、ご意見をいただいた視点も踏まえて取り組んでいく。	伊那地域	40代
3		16	リーディング・プロジェクト2	②女性や子育て世代が活躍できる地域づくりの推進	事業の内容	医療やサービス業、製造業等、これまでの経験やスキルを活用する意欲のある女性が登録し、子育てサポート人員として企業へ紹介する支え合いの仕組みを検討いただきたい。 育児休暇終了後も育児中は子どものことで休みが必要となるケースが多いため、雇用側の支援も検討が必要である。		伊那地域	40代
4		17	リーディング・プロジェクト3	①総合的な学習などによる次世代の育成	重要業績評価指標 (KPI)	信州やまほいく認定公立保育園数の指標値（R11）が全19園となっているが、街なかの保育園でも信州やまほいくは可能か。	屋外等での自然体験活動など、信州やまほいく（信州型自然保育認定制度）の基準を満たせば認定を受けることは可能である。	高遠地域	70代
5		19	リーディング・プロジェクト4	①地域資源を活かした農業・林業の振興	重要業績評価指標 (KPI)	主伐・再造林面積が現状値（17ha（R5））から指標値（185ha（R11））に増加となっているが本当か。	長野県の目標値を基に設定した「第2次伊那市総合計画後期計画」における主伐・再造林面積（KPI）を根拠としているため、指標値に誤りはない。	高遠地域	70代
6		25	リーディング・プロジェクト7	②高齢者の知識や技術を伝承する場づくり	事業の内容	和裁など手仕事の伝承スクールの創設を検討いただきたい。 これまでは単発のイベント形式が多いが、講師登録等の生徒を募集するスクール型があっても良いのではないか。	現在、市では、高齢者が長年培ってこられた知恵や技術等を子どもなど次の世代に伝承する事業である「高齢者知恵袋事業」を実施している。 今後、事業を具体化していく中で、これらの要素や視点を踏まえつつ、連携を図りながら検討していく。	伊那地域	40代
7		29	リーディング・プロジェクト9	②安心・安全な地域づくりの実現	事業の内容	『共助の核となる自主防災組織の維持及び活性化支援（共助）』に関して、自治会アプリ導入と地区独自での連絡対策に対する補助金を検討いただきたい。 有線等級化	自主防災組織へのハード面の補助（支援）については既に実施している。 自治会DX化などのソフト面の支援やサポートについても、意見を踏まえて今後検討していく。	伊那地域	40代
8	地方創生 人口ビジョン	28	第7章 人口の将来展望	人口の将来展望（目標）	—	人口については、予測値と目標値を記載し、可能であれば財源規模の予測値も示すべきではないか。 今後、人口減少は確実であり、伊那市のみ独自で上乗せした数値を出しても日本経済の縮小からは逃れられず、人口減少を正確に読み取る事の方が重要である。 読みが甘い財源規模の目標も甘くなり、ますます市民が不安を抱え、子どもを産まない選択の後押し、負のスパイラルになりかねない。	国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計人口と、伊那市の目標人口については30頁に記載のとおり。 第2期伊那市地方創生人口ビジョンにおける目標人口の実績は、目標を上回る成果となっていることから、これまでの実績や社人研による推計人口等を踏まえ、第3期伊那市地方創生人口ビジョンの目標人口に設定した。 ただし、この数値は伊那市地方創生総合戦略の各事業の実施によって実現可能なものである。 なお、各事業の具体化にあたっては、事業の有効性や効果、特定財源の有無などを総合的に判断するため、目標人口に対して財源規模の予測はしていない。	伊那地域	40代